

三浦アルプス報告書

(L) 伊藤

今回は三浦アルプスという登山コースです。仙元山からの大展望台、アップダウン連続の尾根道、最後に梅林を楽しもうというお誘いです。みなさん半信半疑でこのアルプス・コースに参加です。

返子駅に9名が揃いました。バスで風早橋下車、葉山教会の左道を行きます。

急な階段の山道を登り詰めると仙元山山頂です。うたい文句通り相模湾に浮かぶヨットの群れ、江ノ島、富士山の大展望です(写真)。そこから南尾根を観音塚へと、三浦アルプスの核心部へと入って行きます。大きな樹木の根が網の目の様に地上に張り出し、気を付けながら進みます。観音塚をすぎると、落葉樹等の混交林や竹林の藪の様な登山道はだんだんと細くなり、他の登山者とのすれ違いも神経を使います。先ほどから尾根道はアップダウンの連続です。いい加減に登りに飽きると、下りか平な尾根道になり、また登りと下りとこれを何回も繰り返します。これがラクダ尾根の言われかど、たった標高200m前後の高さの繰り返しを、いやいやブツブツ言いながら休まず歩きます。やがて鉄塔下に着き遅い昼食です。ここでほっと一息入れ三国峠へ向かいます。目標の乳頭山に着き三浦アルプスの縦走は終わります。乳頭山は遠くから見ると2つの出っ張りですが、山頂は平で「乳頭山」と書かれた木札が古木に下がっているのみです(写真)。何を期待していたのでしょうか、ある男性が、な～んだ!!? 山頂は各方面への分岐で、我々は田浦梅林へと下っていきます。

少し下ったところから、海と横須賀港が見渡せます。長いロープを伝って下り、しばらく行くと横浜横須賀道路の上をまたぐ陸橋があり、それを渡り梅林を目指します。田浦梅林は今絶好調の花盛りで、展望塔から海を混じえた2,700本の梅の眺めはただただ素晴らしく、しばしのくつろぎのはずが、思わぬの大体止となってしまいました。その後スイセンの咲き誇る遊歩道を通りJR田浦駅に向かいました。

このアルプスという名の付いた風変わりなコースは一度歩くと愛着が湧いてくるのは私だけでしょうか。この近辺のコースを又、来年も計画して歩きたいと思っています。

2019.3.10. 記

